

特別地方公共団体
神奈川県内広域水道企業団 広報誌

NO. 10

2012

みずき 便り

特集

明日の水道事業を目指して 平成24年度企業団の主な取組み



明日の水道事業を目指して

平成24年度予算に見る 企業団の主な取り組み

神奈川県内広域水道企業団議会1月定例会において、企業団の平成24年度予算(案)が可決されました。そこで今回は、平成24年度に企業団がどのような事業を行うのかについて、羽田慎司企業長に伺いました。

神奈川県内広域水道企業団
羽田 慎司 企業長



「安全」・「防災」・「環境」 24年度予算の3つの柱

Q 平成24年度の予算の主なポイントは何ですか。

A 平成24年度予算は「安全」・「防災」・「環境」を重点的な柱としています。

「安全」対策については、水質の向上や水道管の保全を行うと共に「防災」対策については、昨年の東日本大震災及び福島第一原子力発電所の事故を踏まえて、施設の耐震化補強や非常用の電源設備の充実を図る他、「環境」対策については、再生可能エネルギーの活用を推進します。

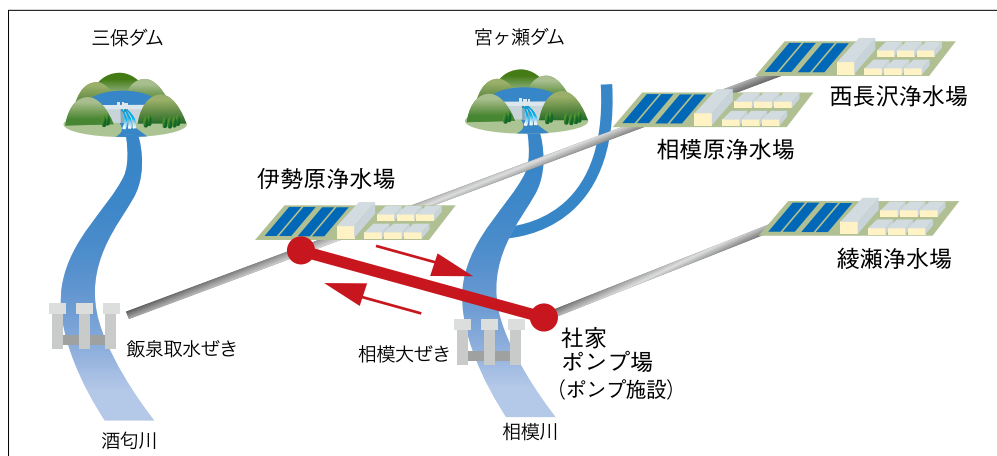
また、水道水に含まれる放射性物質についての県市民の皆様への関心は原発事故から1年が経過した現在でも高く、当企業団でも水道水に含まれる放射性物質を毎日測定し、ホームページに結果を公表しています。平成24年度はゲルマニウム半導体検出器型放射能測定装置を導入し、現在公表している測定結果より精度の高い情報提供に努めてまいります。

「防災」対策 災害に強い給水体制づくり

Q 昨年の東日本大震災を経験したことにより、防災対策が気になると思いますが、施設の耐震化補強や電源設備の充実とはどのようなことを行うのですか。

A 企業団では浄水場や送水管などの主要施設の耐震化率100%を目指して、供給停止による影響度の高い施設から順次、耐震化を進めています。平成24年度は相模原浄水場や綾瀬浄水場などの施設の耐震化を行います。

また、企業団では相模川と酒匂川から取水していますが、どちらか





の川で災害や水質事故などが起きた場合に備えて、社家ポンプ場と伊勢原浄水場の間の約9キロメートルにわたって原水相互融通管を設置しています。平成24年度は現在2台あるポンプを4台に増やし、1日最大導水能力を約28万立方メートルから約40万立方メートルに上げます。これによって、より安定的な供給が可能になります。

さらに、昨年の電力不足のような事態への対策として、小雀ポンプ場の非常用発電設備の改良や、水運用センターの無停電装置の蓄電池の増設を行います。

「環境」対策 地球にやさしく低コストな給水体制づくり

Q 再生可能エネルギーの運用や導入とはどういったことを行っているのですか。

A 企業団の浄水場では敷地内に太陽光発電装置の設置を進めています。

伊勢原浄水場と西長沢浄水場ではすでに太陽光発電装置の稼働を始めており、平成24年度は綾瀬浄水場に太陽光

発電設備を、港南台、葛原などの給水地点に太陽光発電装置や太陽光パネル付き外灯の設置を行い、電力使用量の削減に努めてまいります。

なお、これらの設備の設置によるCO₂削減量は年間111tと見込んでいます。



太陽光発電のためのソーラーパネル(伊勢原浄水場)

Q その他環境に配慮した施策はありますか。

A 当企業団では再生可能エネルギーの導入による省エネルギー化の推進として、太陽光発電装置の設置以外にも2ヶ所で小水力発電設備を運用しております。これによって平成24年度は872tのCO₂削減を図る予定です。

また、現在、水運用センターや浄水場に導入しているLED照明を本庁舎執務室にも導入し、省エネルギー化を推進します。

企業団ではこれからもこれらの施策を着実に実施すると共に、経営基盤の強化を進め、県市民の皆様が安心して水道を利用し続けられるよう、努めてまいりますので宜しくお願い致します。



平成22年台風第9号による被害を教訓に、取水機能を強化するための取水口除塵機の改良や沈砂池内排砂作業用施設の設置。また、汚染物質などの混入を防止するために、外周道路に面した相模原浄水場着水井を覆蓋化するなど、危機管理のためのさまざまな事業も計画されている。
写真左は飯泉取水堰取水口付近の堆砂状況。写真右は覆蓋化された着水井の例(伊勢原浄水場)。



連載

これって
な～に？

4

各地域にあるさまざまな水に関する施設や仕組みを紹介します。

新しい放射性物質測定装置

新しい放射能測定装置を導入します

東京電力福島第一原子力発電所の事故に伴う水道用水中の放射性ヨウ素及び放射性セシウム(以下放射性物質)の測定をNaIシンチレーションスペクトロメーター(核種別放射性測定装置)で行っていましたが、水道水における放射性物質の更なる管理強化のため、4月より新たに「ゲルマニウム半導体検出器型放射能測定装置」による測定を開始いたします。

導入の経緯について

放射性物質の管理を強化するため高精度の測定装置の導入に向けた作業をすすめてきましたが、平成24年3月19日に本装置の設置を行いました。この装置を用いることで、厚生労働省が求める、平成24年4月1日からの水道水1kgあたり1ベクレルの放射性セシウム検出限界値の確保が可能となります。

どこに設置し、 結果はどこで公表するのですか

この装置は海老名市社家にある技術部水質管理センターに設置し、当企業団の4浄水場(伊勢原、相模原、西長沢及び綾瀬)の水道用水については毎日、取水管理事務所(飯泉、社家)から取水する原水及び4浄水場か

ら発生する発生土については毎週測定を行います。

測定結果については、従来どおり企業団ホームページで公表致します。企業団トップページから「放射性物質測定結果」のボタンをクリックすると、ご覧頂けます。

なお、この装置は県内の水道事業者では初の設置であり、測定事業者及び市町村は、構成団体である神奈川企業庁、横浜市水道局、川崎市上下水道局、横須賀市上下水道局の他、小田原市を含む県西部2市8町及び清川村を予定しております。

企業団では、従来より県内水道事業者の要請に基づき放射性物質測定を行ってまいりましたが、新機種導入後も引き続き協力することにより、県市民の皆様の水道水への一層の信頼を得られると考えています。

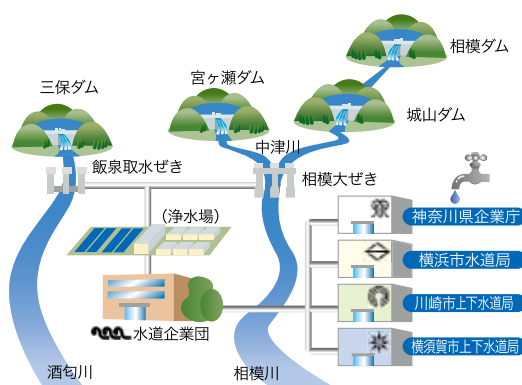


神奈川県内広域水道企業団のご紹介

将来の水需要の増加に対応するため昭和44年、神奈川県をはじめ横浜市、川崎市、横須賀市が構成団体となった「特別地方公共団体」として、神奈川県内広域水道企業団(水道企業団)は誕生しました。

水道企業団は相模川・酒匂川で取水した水を県内4ヵ所の浄水場で水道水にしており、各構成団体の水道局で作られる水道水に、水道企業団の水道水をブレンドして届けています。

構成団体を通じて、家庭に届けられる約半分に相当する水道水を水道企業団が供給しています。



かながわ水 NEWS & TOPICS

水道企業団を構成する県企業庁、横浜市水道局、川崎市上下水道局、横須賀市上下水道局からのお知らせです。



川崎市上下水道局

桜を見にいらっやいませんか？
～生田浄水場の配水池を開放します～

川崎市上下水道局キャラクター
ウォータン

小田急線生田駅とJR南武線中野島駅からそれぞれ徒歩約20分程度のところにある、生田浄水場配水池の一部を桜の季節に合わせて一般開放します。



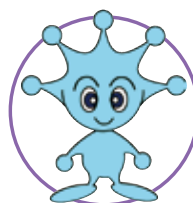
開放日時は4月7日(土)、8日(日)の両日とも午前9時から午後4時までとなり、雨天決行です。

なお、配水池は市民の皆さんの飲み水を貯めておく大切な施設です。そのため、ペットの同伴、火気の持ち込み、開放区域以外の立ち入りはできません。また、駐車場はあ



りませんので、車でのご来場はご遠慮ください。

配水池には約50本の桜の木が植えられており、毎年きれいな花を咲かせています。見ごろを迎える桜を是非ご覧ください。



横須賀市上下水道局

「桜の散策 走水水源地」
～2年ぶりに走水水源地開放～

横須賀上下水道イメージキャラクター
アクアン

平成24年3月24日(土)～4月4日(水)に「桜の散策 走水水源地」を実施します。東京湾に面した走水水源地には、132本の桜が咲き、桜と海のコントラストは見事です。皆さまお誘い合わせのうえ、ぜひご来場ください。

【場所】 走水水源地(横須賀市走水1-2-1)

【日時】 平成24年3月24日(土)～平成24年4月4日(水)
9:00～17:00

【催し】 上下水道パネル展(クイズラリー)、「走水水源地の桜」写真コンテスト、地産地消出店コーナー(土・日曜日)、市営水道発祥の地公開ツアー(3月28日(水)と4月1日(日)、開始時間10:30～と14:00～、当日開始30分前受付、先着各20名)

※ペットの同伴、火気等の危険物の持込みは不可です。ゴミはお持ち帰りください。



詳細は、横須賀市上下水道局HPで **横須賀 水** **検索**



神奈川県企業庁

水と環境のセミナー・水のある風景写真コンテスト写真展を開催しました

県営水道キャラクター
カッピ

県企業庁では、2月1日(水)に鎌倉生涯学習センターにおいて、「水と環境のセミナー」を開催しました。セミナーではアルピニストの野口健さんを講師としてお招きして、「自然・水への思い～ヒマラヤから見た地球温暖化～」をテーマに、環境問題への取組や自然・水の大切さについてご講演いただきました。

また、会場内で「水のある風景写真コンテスト写真展」を同時開催し、平成15年度から平成23年度までのコンテスト入賞作品のうち、45作品の展示を行いました。来場の方からは「貴重で有意義な講演」、「すばらしい作品」



といった感想を多数いただき、両イベントの開催を通して、多くのお客さまに水道の大切さや水への理解と関心を高めていただく、大変良い機会となりました。



横浜市水道局

応急給水拠点検索システム
「スイスイまっぷ」が完成しました！

横浜市水道局キャラクター
はまピョン

横浜市水道局では、災害時の応急給水拠点の認知度が低いことから、ウェブの地図検索機能を利用した拠点の検索システム「スイスイまっぷ」を作成しました。自宅や会社の住所からお近くの応急給水拠点が確認できます。

三種類の応急給水拠点の中でも災害が発生した時に、市民のみなさまに仮設蛇口の設置をお願いしている「災害用地下給水タンク」は、画面に表示されるアイコンを大きくすることで、検索時に一目でわかるようにしています。

また、横浜市水道局では応急給水拠点の確認だけでなく、日頃から、飲料水の備蓄をお願いしています。

画面イメージ
「詳細」「広域」など縮尺も自由に変更できます。ぜひ、操作性の良さと地図の明瞭さを、PC上でご確認ください！



<http://www.city.yokohama.lg.jp/suidou/kyoku/torikumi/anshin-oishi/saigai/>

横浜水道 スイスイまっぷ

検索



企業団議員が企業団災害対策室の視察を行いました

平成24年2月6日に企業団議員団が本庁舎内に常設されている災害対策室の視察を行いました。

各議員から「設備として一応の体制ができているのは評価できる。水運用のバックアップ体制や構成団体との連携をしっかりやって欲しい。」等の意見、感想を頂きました。



北千葉広域水道企業団による当企業団視察がありました

平成24年2月21日に北千葉広域水道企業団から企業長、総務部長、副参事が三ツ境本庁舎を訪れ、水運用センター、小水力発電設備、災害対策室の視察を行いました。



北千葉広域水道企業団ホームページ

<http://www.kitachiba-water.or.jp>

表紙写真募集

当企業団では広報誌「みずき便り」の表紙の写真の随時募集しています。

募集要項については企業団ホームページ

<http://www.kwsa.or.jp/koho-mizuki-picture.html>

をご確認ください。

阪神水道企業団と通信訓練を実施しました

平成24年1月16日三ツ境本庁舎にて「災害時における相互応援に関する協定」を締結している阪神水道企業団と通信訓練を実施致しました。訓練は震度6強の地震が発生したという想定で行われました。今後ともこのような訓練を積み重ねていき、様々に変化する災害時の状況に柔軟かつ的確に対応できるようにしていきたいと考えています。

阪神水道企業団ホームページ <http://www.hansui.or.jp>

静岡県大井川広域水道企業団と「災害時における相互応援に関する協定」についての調整を行いました

平成24年2月20日、21日の2日間、企業団職員4名が静岡県大井川広域水道企業団を訪れ、それぞれの防



災対策状況の確認や「災害時における相互応援に関する協定」について具体的手順の調整を実施しました。

静岡県大井川広域水道企業団ホームページ

<http://www.oigawakoiki.or.jp>

コミュニケーション研修を実施しました

平成23年12月13日、14日の2日間、三ツ境本庁舎において職員約70名を対象に講師に(株)行政マネジメント研究所から谷口龍彦氏を迎え、職場内の管理職を対象にコミュニケーションスキルの向上を図るための研修を実施しました。

《表紙の言葉》「飯泉取水管理事務所で備蓄している内径3,100mm導水管」

人が通れるほどの大きな管は飯泉取水管理事務所に備蓄している、企業団で最も直径の大きい水道管です。災害時などにすぐに交換できるように備蓄しています。

発行：平成24年3月 神奈川県内広域水道企業団

〒241-8525 神奈川県横浜市旭区矢指町1194番地

TEL.045-363-1111 (代表) FAX.045-363-1121

<http://www.kwsa.or.jp>

神奈川企業団

検索